

## NY マーケットレポート (2017年7月6日)

NY 市場では、序盤に発表された ADP 雇用統計が市場予想を下回る結果となったことや、新規失業保険申請件数がさえない結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、その後に発表された ISM 非製造業景況指数が市場予想を上回る結果となったことから、値を戻す場面もあった。

終盤にかけては、株価が下げ幅を拡大する動きとなったことや、米国債利回りが低下したこともあり、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。一方、ユーロは、6月の ECB 理事会の議事録公表を受けて、ECB が量的金融緩和の縮小に動くとの見方が強まり、主要通貨に対して上昇となり、特にユーロ/円は 2016年2月10日以来の高値を更新した。

### 2017年7月6日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.33	113.38	112.89
EUR/JPY	128.65	128.74	128.00
GBP/JPY	146.48	146.66	146.06
AUD/JPY	82.21	86.23	85.77
EUR/USD	1.1352	1.1357	1.1330

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.47	113.18
EUR/JPY	129.06	128.41
GBP/JPY	147.26	146.37
AUD/JPY	86.32	85.94
EUR/USD	1.1388	1.1344

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.21	113.42	113.03
EUR/JPY	129.30	129.41	128.80
GBP/JPY	146.85	147.04	146.14
AUD/JPY	85.83	86.04	85.74
NZD/JPY	82.32	82.46	82.07
EUR/USD	1.1422	1.1425	1.1379
AUD/USD	0.7582	0.7596	0.7577

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21320.04	-158.13
S&P500	2409.75	-22.79
NASDAQ	6089.46	-61.39
日経225 (CME)	19890	-180
トロント総合	15078.00	-75.12
ボルサ指数	50015.67	-285.13
ボベスパ指数	62470.33	-683.84

#### 7/7 経済指標スケジュール

08:30	【オーストラリア】6月AiG建設業指数
09:00	【日本】5月毎月勤労統計[現金給与総額]
14:00	【日本】5月景気先行CI指数・景気一致CI指数
14:45	【スイス】6月失業率
15:00	【ノルウェー】5月鉱工業生産
15:00	【南アフリカ】6月外貨準備高
15:00	【ドイツ】5月鉱工業生産
15:45	【フランス】5月经常収支・5月財政収支
15:45	【フランス】5月貿易収支
15:45	【フランス】5月製造業生産指数・5月鉱工業生産
16:30	【スウェーデン】6月財政収支
16:30	【スウェーデン】5月個人消費
16:30	【英国】6月ハリファックス住宅価格
17:30	【英国】5月鉱工業生産
17:30	【英国】5月商品貿易収支
17:30	【英国】5月製造業生産高
21:00	【英国】6月NIESR GDP予想
21:30	【米国】6月失業率
21:30	【米国】6月非農業部門雇用者数
21:30	【米国】6月平均時給
21:30	【カナダ】6月失業率
21:30	【カナダ】6月雇用ネット変化率
22:00	【メキシコ】6月消費者物価指数
23:00	【カナダ】6月Ivey購買部協会指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1223.30	+1.60
NY 原油	45.52	+0.39
CME コーン	390.50	-1.50
CBOT 大豆	999.25	+5.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.398%	1.406%
3年債	1.587%	1.579%
5年債	1.937%	1.917%
7年債	2.199%	2.167%
10年債	2.366%	2.325%
30年債	2.902%	2.848%

ドイツ10年債	0.562%	0.470%
英国10年債	1.316%	1.260%

#### 7/7 主要会議・講演・その他予定

- ・金融政策報告書公表 (FRB)
- ・G20サミット (~8日)

**NY 市場レポート**

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 1.4% (前回 -6.2%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	6/30	6/23	6/16	6/9	6/2	前年同期
申請指数	1.4	-6.2	0.6	2.8	7.1	-27.1
購入	3.1	-4.1	-1.0	-2.8	10.0	6.2
借換え	-0.4	-8.6	2.1	9.2	3.4	-46.1
固定金利	1.2	-5.8	0.4	2.8	7.4	-28.4
変動金利	4.3	-12.3	2.3	2.1	3.7	-5.3

20 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米チャレンジャー人員削減数 (前年比) -19.3% (前回 9.7%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

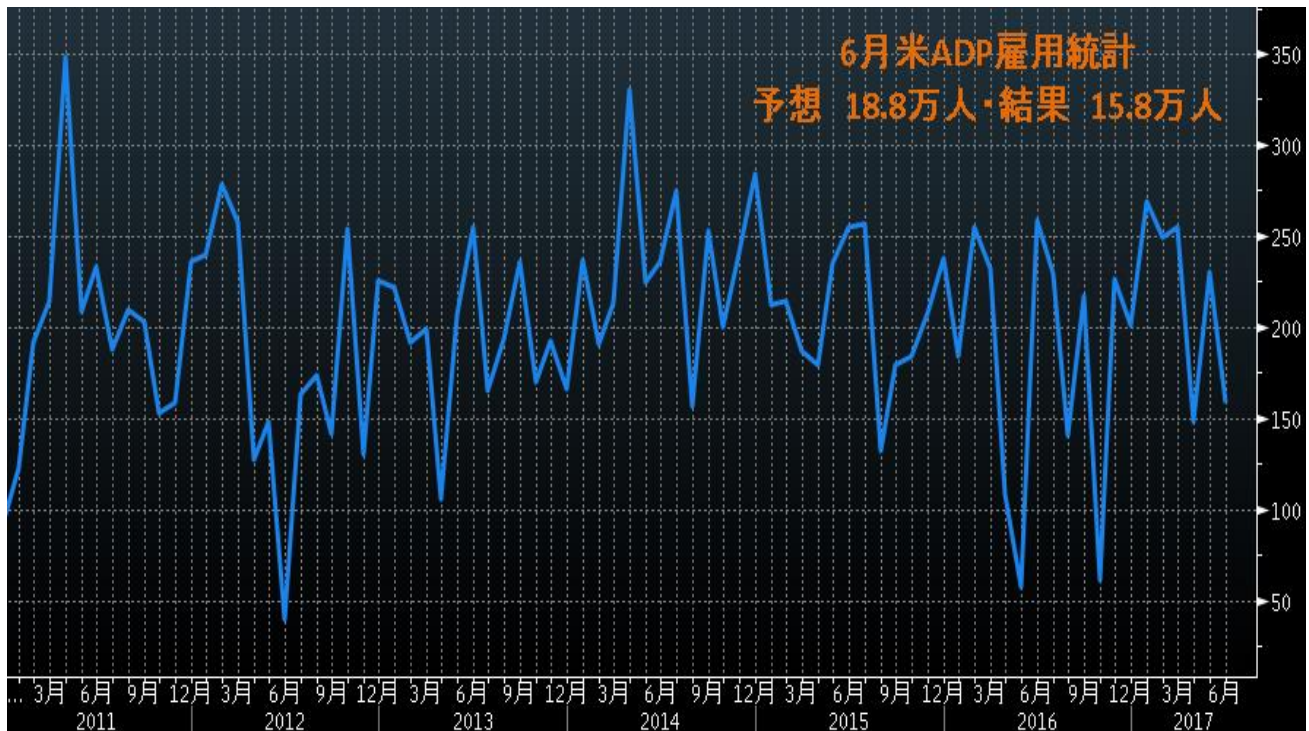
《チャレンジャー人員削減数》

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
合計	31,105	33,092	36,602	43,310	36,957	45,934
前年比 (%)	-19.3	9.7	-42.9	-2.0	-40.0	-38.8
東部	6,388	7,302	9,120	13,982	11,282	4,589
中西部	6,479	11,430	11,984	10,332	5,190	20,902
西部	12,420	7,188	8,257	14,727	16,310	12,295
南部	5,818	7,172	7,241	4,269	4,175	8,148

21:15

《 経済指標の結果 》

6月米ADP雇用統計 15.8万人 (予想 18.8万人・前回 23.0万人)  
 前回発表の25.3万件から23.0万件に修正



出所: Bloomberg

指標結果データ

《ADP雇用統計》

	6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月
ADP雇用者数 (前月比)	15.8	23.0	17.4	25.5	24.9	26.8	20.1
	(万人)						

給与名簿に基づく集計調査による6月の米ADP雇用統計では、雇用者数の伸びが市場予想の18.8万人を下回る15.8万人となり、2ヵ月ぶりの低水準となった。前月大幅な伸びとなった製造業や建設業を含む財生産部門の雇用は、前月比横ばいだった。このうち建設業は-0.2万人、製造業は+0.6万人となった。一方、サービス業は+15.8万人と、今月の増加分全てがサービス部門だった。従業員が500人以上の大企業の雇用者数は+5.0万人、50-499人の中堅企業では+9.1万人、49人以下の小企業では+1.7万人となった。



米ドル=円, 1分足, #100



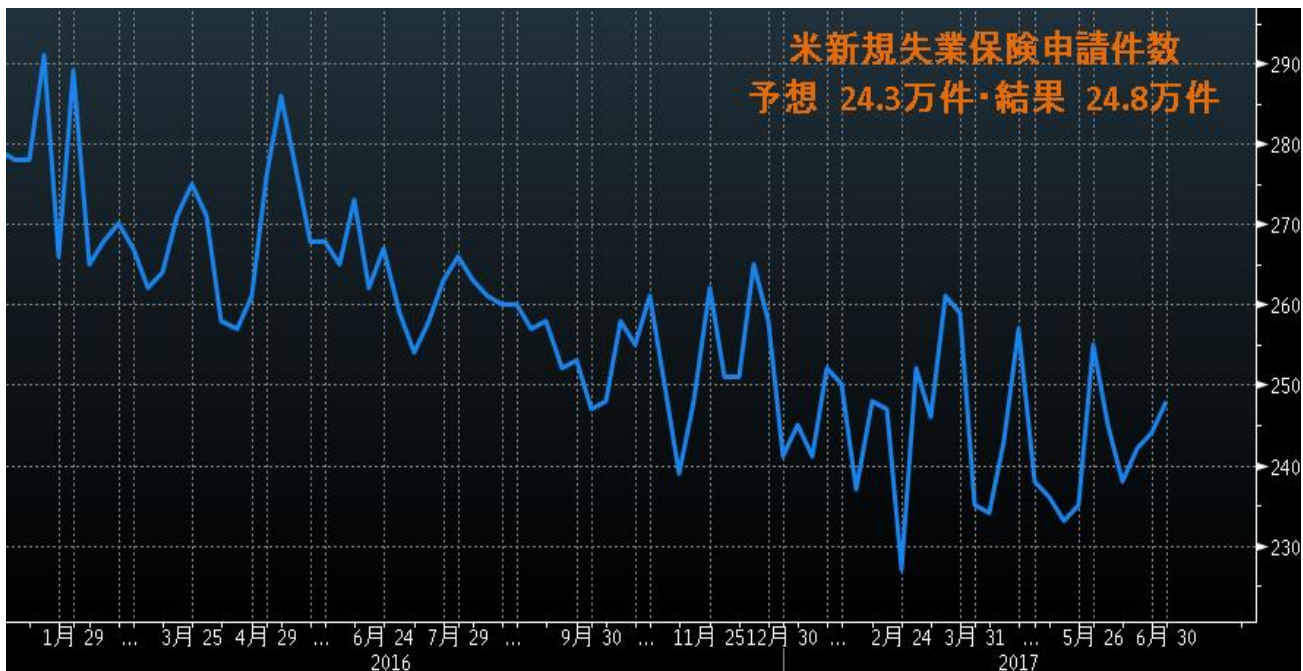
出所 : Net Dania

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 24.8万件 (予想 24.3万件・前回 24.4万件)

米失業保険継続受給者数 195.6万人 (予想 193.8万人・前回 194.5万人)  
 前回発表の 194.8万人から 194.5万人に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

＜新規失業保険申請件数・継続受給者数＞

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
17/07/17	248,000	+4,000	243,000	***	***
17/06/24	244,000	+2,000	242,250	1,956,000	1.4%
17/06/17	242,000	+4,000	245,000	1,945,000	1.4%
17/06/10	238,000	-7,000	243,250	1,942,000	1.4%
17/06/03	245,000	-10,000	242,000	1,935,000	1.4%
17/05/27	255,000	+20,000	239,750	1,929,000	1.4%
17/05/20	235,000	+2,000	235,500	1,919,000	1.4%
17/05/13	233,000	-3,000	241,000	1,924,000	1.4%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、市場予想の24.3万件を上回る24.8万件となり、3週連続で増加した。申請件数の4週移動平均は、前週比+750件の24.3万件となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.1万人の195.6万人となり、5週連続で増加した。受給者総数の4週移動平均は、前週比+6750人の194万4750人。受給者比率は、前週と変わらず+1.4%だった。

21:30

＜経済指標の結果＞

5月米貿易収支 -465億USD (予想 -463億USD・前回 -476億USD)



出所: Bloomberg

指標結果データ

＜米貿易収支＞

	5月	4月	3月	2月	1月	前年同月
輸出	1920.3	1911.7	1914.6	1916.8	1915.0	1821.7
輸入	2385.4	2387.6	2367.4	2365.9	2402.8	2236.9

(単位 億ドル)

5月の米貿易収支では、赤字額がモノとサービスを合わせた国際収支ベースで前月比-2.3%の465億700万ドルとなり、3ヵ月ぶりに縮小した。自動車・同部品の輸入が減り、輸出が増えたことが影響した。

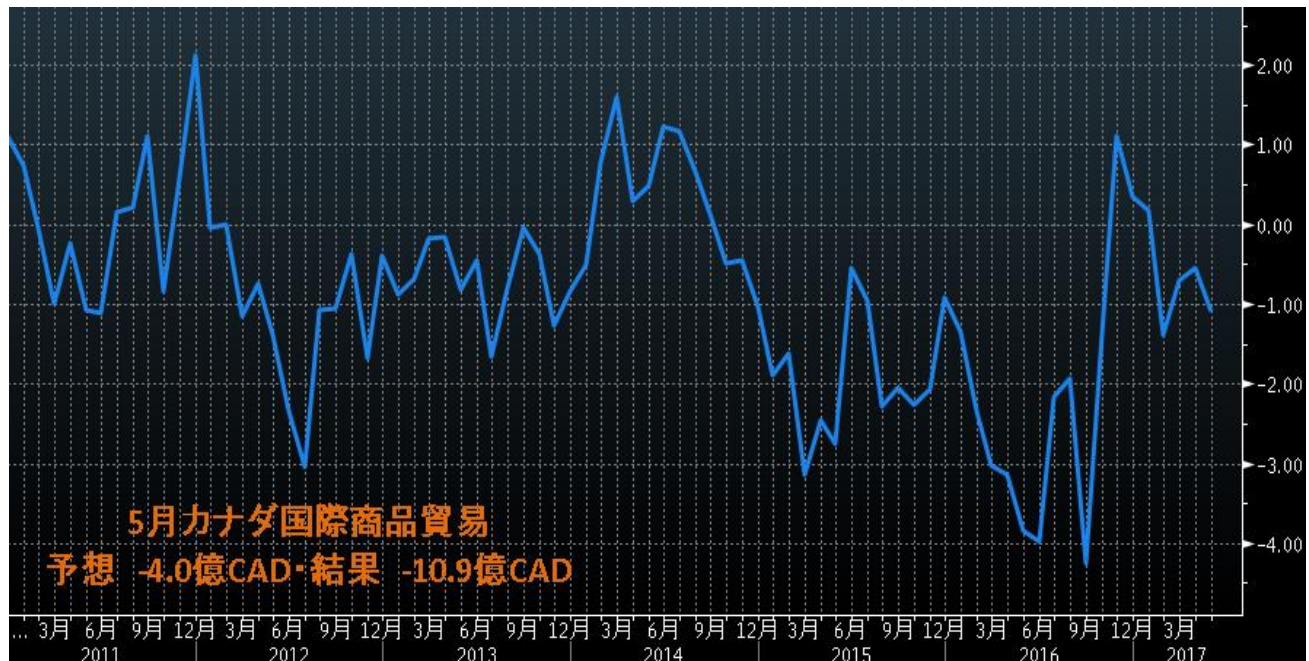
①輸出総額は+0.4%の1920億2800万ドルと3ヵ月ぶりの増加、輸入総額は-0.1%の2385億3500万ドルで3ヵ月ぶりのマイナス。モノの貿易赤字は-1.3%の674億9200万ドル。

②国・地域別では、対日赤字が+11.3%の57億9900万ドル、対中赤字は+14.4%、対EU赤字は+1.7%だった。

21 : 30

< 経済指標の結果 >

5月カナダ国際商品貿易 -10.9億CAD (予想 -4.0億CAD・前回 -5.5億CAD)  
 前回発表の-3.7億CAD から-5.5億CAD に修正



出所 : Bloomberg

22 : 45

< 経済指標の結果 >

6月マーケット米国サービス業PMI 54.2 (予想 53.0・前回 53.0)



出所 : Bloomberg



23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米ISM非製造業景況指数 57.4 (予想 56.5・前回 56.9)



出所 : Bloomberg

#### 経済指標データ

##### ◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
総合指数	57.4	56.9	57.5	55.2	57.6	56.6
景況指数	60.8	60.7	62.4	58.9	63.6	60.3
仕入価格	52.1	49.2	57.6	53.5	57.7	59.0
新規受注	60.5	57.7	63.2	58.9	61.2	58.6
雇用指数	55.8	57.8	51.4	51.6	55.2	54.7

6月米ISM非製造業景況指数は、市場予想の56.5を上回る57.4となり、2ヵ月ぶりに57ポイント台に改善した。関連指数では、景況指数が60.8(前月60.7)、価格指数が52.1(49.2)、新規受注指数が60.5(57.7)と前月を上回る結果となったが、雇用指数は55.8(57.8)と低下となった。

0 : 00

##### ◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・630万バレル減少  
 ガソリン在庫・・・367万バレル減少  
 留出油在庫・・・185万バレル減少  
 クッシングの原油在庫・・・133万バレル減少

##### ◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、ECBが金融緩和を縮小するとの観測から欧州債券市場でドイツなどの国債が下落したことが嫌気され、売りが先行した。また、ISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことも、売り材料となった。

午前の利回りは、30年債が2.92%(前日2.85%)、10年債が2.38%(2.33%)、7年債が2.22%(2.17%)、5年債が1.95%(1.92%)、3年債が1.60%(1.58%)、2年債が1.41%(1.41%)。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、ECBの6月理事会の議事要旨公表を受けて、ECBが量的金融緩和を縮小するとの思惑が広がり、主要株価は軟調な動きとなった。

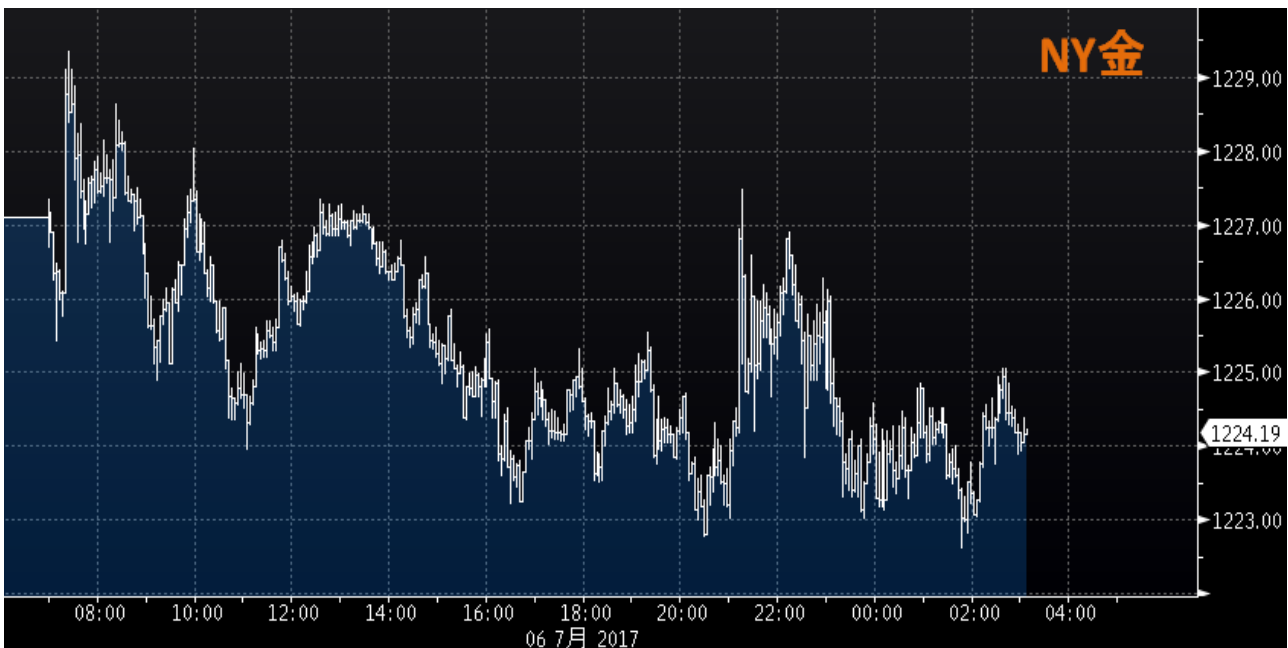


出所：Bloomberg

◀ NY金市場 ▶

NY金は、中心限月が前日比1.66ドル高の1オンス=1223.30ドルで取引を終了した。

NY金は、米雇用関連の経済指標が市場予想より悪い内容だったことで、比較的安全な資産とされる金の逃避買いが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して下落したことで、ドルの代替資産としての需要も高まった。



出所：Bloomberg



◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.39 ドル高の 1 バレル=45.52 ドルで取引を終了した。

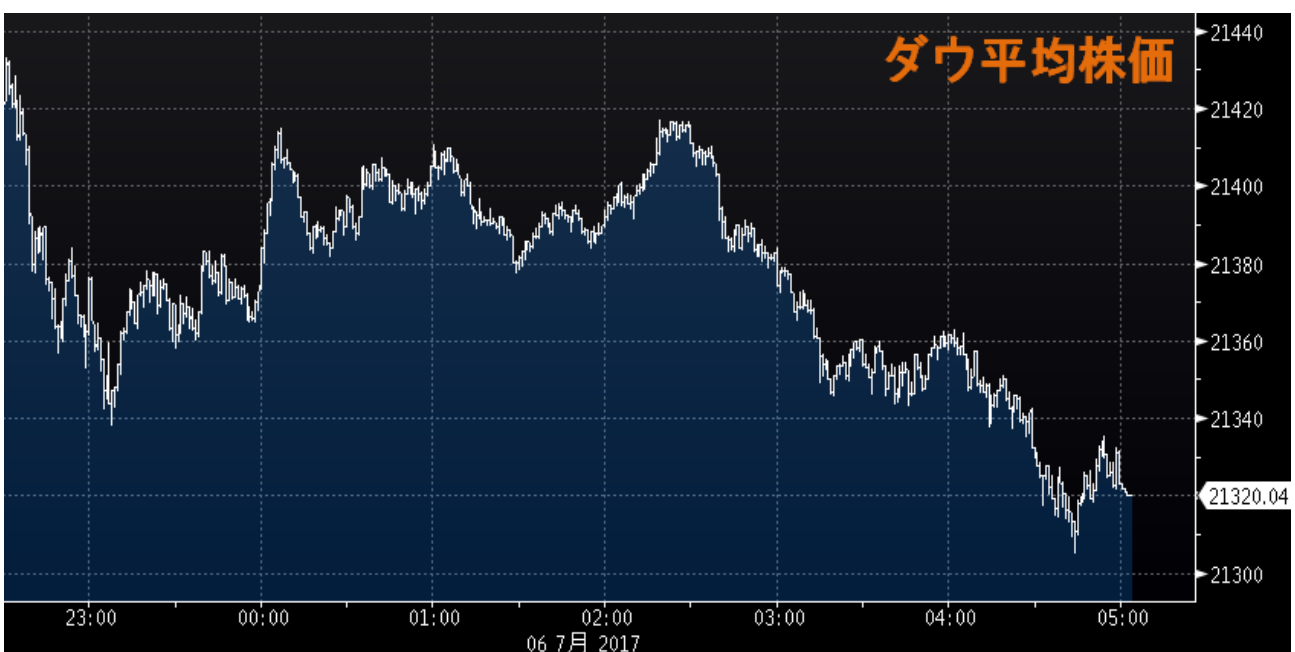
NY 原油は、米石油統計で、原油やガソリン在庫が市場の予想以上に減少したことが好感され、買いが優勢となった。ただ、原油生産量が増加したほか、世界的な供給過剰への懸念も根強いことから引けにかけては売りも出て、相場の上げ幅が縮小した。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、米国の雇用関連の経済指標が市場予想を下回る結果となったことが嫌気され、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。また、日本や欧州の主要株価が下落したことも影響した。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、中盤にはやや下げ幅を縮小する場面もあったが、終盤には再び軟調な動きとなり、一時前日比 172 ドル安まで下落した。



出所：Bloomberg

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米国の雇用関連の経済指標が市場予想より悪かったことから、ドルを売って円を買い戻す動きが先行した。その後は、上昇する場面もあったが、上値の重い動きが続いた。ユーロは、ECB が量的金融緩和の縮小に動くとの見方を背景に、主要通貨に対して堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。